NEWS LETTER

医療とともに。AHCC　Vol.2

アミノアップ化学 PR 事務局
2015 年 2 月 19 日

＜報道関係者各位＞

お医者さんにサプリメントの相談をできる時代が到来！？

高まるサプリメントへの期待

～医療機関におけるサプリメント取扱いの明確化～

http://www.aminoup.co.jp/products/AHCC/

医師がその良さを認めているサプリメントは、一体どこに行けば手に入るのか？「QOL（キューオーエル）（Quality of Life=生活の質）の向上」を真剣に考える時代、サプリメントへの期待もますます高まっています。

本ニュースレターでは、通常生活している上ではなかなか見えにくい、現在のサプリメントを取り巻く環境の変化、これから起こりうる新たな問題、株式会社アミノアップ化学にて、開発から製造まで行っている機能性食品「AHCC」に関する基礎知識などについて発信して参ります。

■医療機関でのサプリメントの販売やアドバイスが可能に

2014 年 6 月 24 日の閣議決定で、医療機関においてサプリメント等の販売やアドバイス業務が可能であることが明確化されました。

これまでも医療機関でサプリメント等の食品を取り扱っているところはありましたが、一部自治体ではそれを認めておらず、その地域の住民にとっては公平 かつ十分なサービスが受けられないという不利益が生じていました。一方、がん患者では半数近くの方がサプリメントを含めた何らかの手段を 1 種類以上利用しているという実態も有ります。こういった状況から、国が主導となって「医療機関が食品を販売することが可能である」ということを明確に示した経緯があります。

政府は、「病気や介護を予防し、健康を維持して長生きしたい」との国民のニーズに応え、世界に先駆けて「健康長寿社会」を実現するために、規制改革実施計画（2014 年 6 月 24 日閣議決定）をまとめました。これにより、医療機関において、「医療提供又は療養の向上の一環として、サプリメント等の食品やコンタクトレンズ等の医療機器の発売が可能であることを明確化し、周知を行う」ことが可能となりました。

また、国が進める食品の新たな機能性表示制度の解禁も目前に迫り、サプリメント等の立場も大きく変化することが予測されています。まもなく制度のガイドラインが公表され、4 月から運用される予定です。

■海外のサプリメント事情と統合医療

海外に目を向けると、アメリカなどでは医師が積極的にサプリメントを取り扱っています。「統合医療」※はアメリカなどで主に始まった概念で、通常の医療行為に加えてサプリメント等の食品も一緒に検討することで、QOL 向上を追求します。また、予防の観点からもサプリメントは注目されています。一つの例が「AHCC（エーエイチシーシー）」というサプリメント。実は日本産のサプリメントなのですが、アメリカでは子宮頸がんの予防に関する研究が行われ、その試験結果は 2014 年の「第 11 回アメリカ癌統合医療学会」でも発表されています。

日本の医療機関でサプリメントの販売が正式に認められましたが、サプリメントの購入に関しては保険が効くわけではありません。保険が効く「保険診療」とそれ以外の「自由診療」に分けられているからです。これはアメリカにおいても同じことで、この購入費用はすべて患者の自己負担となっています。しかし「自分の健康を守るために、自分で責任をもつ」そんな時代だからこそ、医師の的確なアドバイスを受けながら上手にサプリメントを活用したいというニーズは高まっています。

■統合医療とは※

「統合医療」という概念は「こころと身体を統合した全人的な医療」のあり方として注目を集めています。厚生労働省の『「統合医療」のあり方に関する検討会』においては、「統合医療」を「近代西洋医学を前提として、これに相補（補完）・代替療法や伝統医学等を組み合わせて更に QOL（Quality of Life：生活の質）を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの」と定義しています。

■日本の統合医療の現状

日本では統合医療の実態について 2001 年に厚生労働省がん研究班が、全国規模の調査を行ないました。当該研究結果は 2005 年に学術論文として発表されており、その中で、がんの医療現場ではがん患者の 44.6%（1382/3100 名）が、通常医療の他に民間療法を含む何らかの手法を 1 種類以上利用していることや、そのうち 96.2%の方が「健康食品・サプリメント」を使用しているとの調査結果が明らかになりました。

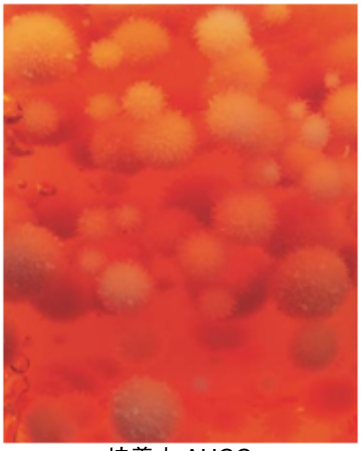
（がんの補完代替医療ガイドブック第 3 版より）

さらに、大阪大学では統合医療学寄付講座が 2005 年に開設され、以来 10 年に渡りサプリメントをはじめ、各民間療法の科学的検証を行っています。（大阪大学大学院　医学系研究科　統合医療学寄附講座　http://osaka-cam.jp/）

■AHCC とは

AHCC（Active Hexose Correlated Compound：活性化糖類関連化合物）とは、シイタケ（*Lentinula edodes*）属に属する担子菌の菌糸体培養液から抽出された α-グルカンに富んだ植物性多糖体の混合物です。これは、医薬品ではなくいわゆる健康食品として、開発国の日本のみならずヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセアニアなど広範囲で販売されており、現在では統合医療の一手段としても取り入れられています。AHCC の製造工程およびマネジメントは ISO9001:2008,ISO22000:2005 を含む国際的な品質や安全の標準化を厳守しており、また、日本国内では公益財団法人日本健康・栄養食品協会の健康補助食品 GMP を取得し、製造設備は医薬品製造に用いられる設備を導入するなど、厳格なシステムによって品質管理をしています。

AHCC


培養中 AHCC

培養タンク

■2015 年 3 月 28 日　第 135 回日本薬学会でアミノアップ化学がランチョンセミナーを開催

アミノアップ化学は、神戸で開催される第 135 回日本薬学会にてランチョンセミナーを開催します。

日時：2015 年 3 月 28 日（土）12:15～13:15　神戸学院大学 B 号館 3F B301

演者：Judith A. Smith（テキサス大学ヘルスサイエンスセンター准教授：ジュディス・スミス氏）

予定内容：ハイリスク HPV 感染に対する AHCC による治療の可能性

日本薬学会 URL：http://nenkai.pharm.or.jp/135/web/

【本件に関するお問い合わせ先】
アミノアップ化学 PR事務局（株式会社イニシャル内）　担当：馬屋原、高桑
TEL：03-5572-6062　FAX：03-5572-6065　MAIL：ahcc@vectorinc.co.jp

■株式会社アミノアップ化学　会社概要

1984 年設立以来、「身近な天然素材から健康に役立つ製品をつくる」という理念のもと、科学的に裏付けられた機能性の高い素材の開発を行っています。主力製品の AHCC は、独自の大型タンク培養法、抽出技術を確立して製品化され、世界十数か国に輸出され、国内外の多くの医療機関で治療の補助として使用されています。

商　　号:　株式会社アミノアップ化学
所 在 地:　北海道札幌市清田区真栄 363 番地 32
代 表 者:　代表取締役社長　藤井　創
資 本 金:　3 億 6900 万円
事業内容:
・バイオテクノロジー（微生物大型タンク培養法）による
　植物生育調節物質、担子菌由来抽出物等の製造及び販売
・天然物由来の生理活性物質の開発・製造及び販売
・タンク培養、生理活性物質抽出の技術を用いた試験製造
・天然由来の農業資材、食品添加物、健康食品素材、医薬品原料の生産
HP：http://www.aminoup.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】
アミノアップ化学 PR事務局（株式会社イニシャル内）　担当：馬屋原、高桑
TEL：03-5572-6062　　FAX：03-5572-6065　MAIL：ahcc@vectorinc.co.jp